

福井大学学術交流協定校への派遣留学（交換留学） 月例報告書（11月）

留学先：ハンブルク大学

氏名： 片川 絵里奈

ハンブルクでは今月中旬に初雪が降り、はやくも冬の訪れを感じる季節となりました。11月に雪が降るのは珍しいようで、今年の冬は例年より長くなる、とあちこちで言われています。ようやく寮や学校での生活にも慣れてきた頃なので、体調管理をしっかりと、風邪をひかないように気をつけようと思います。

今月は、平日に学校でどのような活動をしているかを中心に、**Hamburger Dom** という移動遊園地についてもお伝えします。

時間割

	月	火	水	木	金
1				異文化理解	
2			会話	タンデム	
3	日本語Ⅲ	独文和訳			漢字
4	タンデム	タンデム		タンデム	発音
5	タンデム	読解・作文		作文	
6			サッカー		

…日本語サポーターとして参加している授業。

先日はディスカッションの時間があり、日本文化に特有の「上下関係」「本音と建前」について学生と話し合いました。日本に留学していたドイツ人学生が、部活動での上下関係に悩まれたことを聞き、日本の風習について考えさせられました。

…履修をして、単位をもらうことができる授業。

クラスメイトは、北はフィンランド、デンマーク、イタリア、フランス、イギリス、ポーランド、アジアからは中国、韓国、インド、などさまざまな国から来ています。異文化理解の授業は特に面白く、一つのテーマ（ドイツへのイメージ、食文化、自然観、家族観など）について人々がどのように考えているのか、学生の生の声を通して知ることができます。

…学生と言語を教え合う時間。

多くの日本語学科の学生は、「タンデム」という、言語を学ぶ人同士が互いの母語を教え合う活動をしています。タンデムパートナーは授業やカフェでの関わりを通して、自ら探します。この活動では、授業でわからなかった所を質問したり、互いの文化について興味があることを聞き合ったりしています。学生との会話が楽しいのはもちろん、授業とは違う口語的な表現を学べるのも魅力だと感じます。

…大学のスポーツコース。

ハンブルク大学では「Hochschulsport」という機関で、100種類以上のスポーツコースが開かれています。学期ごとに52ユーロ(約6000円)を払えば、受講し放題というシステムになっています。私は今のところ、女子サッカーのコースを受講しています。初回は参加人数が8人と少なかったですが、ゲームをするなかで距離が縮まっていくのを感じます。またチームメイトと話したい、という気持ちがドイツ語学習のモチベーションの一つにもなっています。

Hamburger Dom

ハンブルクでは、年に3度(春、夏、冬)移動遊園地がやってきます。この日は日本語学科の学生と日本人留学生で行きました。ドイツのアトラクションは日本のものと違う点が多くあります。まずは値段です。安いものは2ユーロから、高くても4ユーロで乗ることができます。また一回分の時間も非常に長いです。そしてスピードが違います。観覧車は、日本ではロマンチックなものとして有名ですが、こっちはゴンドラに壁がない上、かなりの速さで回ります。ビュンビュン風を切りながら3周ほど回るので、むしろ少し怖いくらいです。



アトラクションが苦手な私にとっては、屋台が一番の楽しみです。ドイツといえば!のソーセージやビールはもちろん、Domでは甘いお菓子をよく見かけます。「Schmalzkuchen(主マルツクーヘン)」と呼ばれるドーナツのようなものや、ナッツにシナモンや砂糖、チョコレートがトッピングされたものがあります。

また冬のDomでは「Glühwein(グリューワイン)」という、赤ワインにスパイスが加えられたものが売られており、大人たちに愛されています。スパイスの効果で程よく体が温まるそうです。寒い日でも外へ出て、ワインを片手に家族や友人と語らうのがドイツの冬の楽しみ方のひとつなのかもしれません。

冬のDomは12月4日で終わってしまいますが、来月はいよいよクリスマスがやってきます。ドイツでは12月25日の直前の日曜日を基準とし、4週間前からカウントダウンをしてクリスマスを待ち望みます。最初のアドベントにあわせて、11月下旬からはクリスマスマーケットが開かれます。ハンブルク市内だけでも大きめのマーケットが5か所あるそうなので、余すことなく楽しみたいです。